



安芸の宮島「厳島神社の大鳥居」

慶應義塾大学 広島通信三田会報

みやじま

第62号

2022年3月

慶應義塾大学 広島通信三田会

目次

・ 総会並びに新卒者祝賀会・歓迎会のご案内	．．．．．	P.1
・ 会員の皆様へ	．．．．． 迫田 勲（広島会長）	P.2
・ コロナ禍の功罪	．．．．． 瀬戸田 誠（全国地域連絡部長）	P.3
・ 広島通信三田会に寄せて	．．．．． 益田 由起子（慶友会担当幹事）	P.4
・ 2021年度卒業式（午前の部）レポート ～ とある保護者の目線から ～	．．．．． 小林節子（広報担当幹事）	P.5-6
・ 【特別寄稿】 第2の故郷、広島を想う	．．． 明石 旭弘(憲彦)（岡山名誉会長）	P.7-9
・ 塾情報	．．．．．	P.10-11
全国通信三田会卒業生 16000 人達成記念式典、祝賀会のご案内（予告） 通信教育課程 2021年9月卒業生数と2021年10月の入学者数		
・ 編集後記	．．．．．	P.11

総会並びに新卒者祝賀会、歓迎会のご案内

令和4年度総会並びに新卒者（加藤美奈君、2021年9月文学部卒）の祝賀会・入会歓迎会を下記の通り行います。同君の卒業を祝し、当会入会を歓迎致しましょう。蔓延防止措置が解除され、感染防止対策（マスクの着用の徹底、時間の短縮（2時間以内）、会場の選定を行い、開催することに致しました。久し振りの顔合わせです。

記

日時 令和4年4月17日（日）11：30～13：30（予定）

場所 **月あかり** 広島市中区大手町1-8-9（個室を予約）

市内電車 紙屋町西電停から南に徒歩約3分

（TEL-082-545-7777） <http://in-smart.co.jp/shop/tsukiakari.html>

第1部 総会

〔議題〕

- （1）令和3年度事業報告、会計報告、監査報告
- （2）令和4年度事業計画案
- （3）その他、連絡、報告など

第2部 新卒者卒業祝賀会、歓迎会

加藤美奈君の卒業を祝し、当会への入会の歓迎をします。

紹介、記念品贈呈、中食、懇談

食事代 1人 3000円（税込）

第3部（希望者のみ）

平和公園に移動、徒歩（約3分）原爆資料館で原爆資料など見学、見学後、各自自由解散

会員の皆さまへ

広島通信三田会 会長

迫田 勲 (昭和 43 年法学部卒)

長引くコロナ禍の中、会員、塾員の皆さま、如何お過ごしでしょうか。

2 年前、外国で発生した新型コロナウイルスは瞬く間に世界中に蔓延、2022 年 2 月末現在、全世界人口の約 5.6%に当たる、4.3850 億が感染、死者、596 万人という脅威をもたらしました。因みに最も多いのはアメリカで感染者 7900 万人、死者 95 万人、日本の感染者数は 18 番目で 5 百万人余、死者 2.4 万人と報道されています。このような状況下、三田会の交流等で会員、塾員の皆さんにお会いする機会がなくなりましたが、健康や命に関わること、我慢しなければなりません。マスク着用や消毒、手洗は当たり前になり、コロナは政治経済や社会の仕組み、日常生活に到るまでを大きく変えましたね。

◆三田会活動について

慶應の伝統である塾員の集い、三田会活動も中止や延期になりました。全国通信三田会で春・秋行われている恒例の幹事会も ZOOM (オンライン) になり、昨年の連合三田会大会は初めてオンラインで行われました。これはわざわざ東京に行かなくても、自宅等でパソコンや携帯電話を使って、リアルタイムに相手を画面で見ながら会話や参加が出来る、自宅にいても用が足せる、という大きなメリットがあります。しかし、反面インターネット環境があること、それを使う知識、スキルが必要、という前提条件、欠点があります。今日、インターネット環境は全国どこでもほぼ整備されていますが、それを使う知識、スキルは特に高齢者 (私もそうですが) は難儀、不馴れです。ついて行けない、というのが正直なところでしょう。当会にも現役を引退した高齢者が多く (全国的にもそうですが)、こうした時代の流れにどう対応して会を運営するかが、大きな課題になっています。

◆今後の活動

最近、政府の対策(ウィズコロナ)に対する国民の意識の定着、ワクチン接種の普及等でウィルス感染者が減少、終息に向かうことは期待されますが、時間がかかることを覚悟する必要があります。しかしウィルスが消滅するわけではなく、油断大敵、コロナとの共存、を意識し、生活に定着させることが大切です。

福澤先生の思いで誕生した「三田会」は塾員が社中の仲間として、気軽に集まり、語り、飲み食いすること、それにより絆を深め、自己開発を図ることにあり、これが三田会の伝統となり、魅力になっております。今後の活動はコロナを意識、十分留意して行う必要があります。集合、対面が制限される中の活動は ZOOM によるオンラインと会報ですが、私達に今最も現実的なのは、会報による情報発信、情報交換を通じて絆を深めることだと思います。一方で、オンラインも時代の趨勢(すうせい：物事が進む様子、動向、成り行き)であり、研究・検討することが必要になります。

『コロナ禍の功罪』

広島通信三田会副会長

(全国副会長・地域連絡部長)

瀬戸田 誠 (平成元年経済学部卒)

丸2年間も続いたコロナ禍自粛生活も、ようやく「蔓延防止等重点期間」の解除により、経済も、社会も少しずつ動き始めました。その間に、世界では「ウクライナとロシアの戦争態勢」が世界経済を震撼させています！ また、「東北震災 11 年」を迎えて年に、また東北地方で大きな地震が頻発に発生しています。本当に「内外憂慮」の浮かぬ春です。

さて、慶應義塾大学も 3 月 23 日、「学位授与式」が午前と午後に分かれて挙行されました。残念ながら、懇親会は開催されない寂しい卒業式に。しかし、通信卒課程では、26 日にオンラインで懇親会を開催しました！ 多くの先生方がオンラインで参加され、花を添えて頂きました！

この2年間、三田会の活動も休止状態をやむなく続けて来ましたが、ようやく活動再開の光が見えてきました。高齢者・学童のコロナワクチン接種もかなり進みましたが、感染者数は高止まりで中々減少しません。職場や、過程への感染持ち込みが原因ですが、基本的な予防対策「マスクの着用・手の消毒・密の回避」は、当分は続けないとコロナ収束にはたどり着けない現状です。

この間「功」としては、急速にオンライン活用が社会で広まったことです。全国の通信役員会議、幹事会もオンラインの活用で実施、大学の先生の講義もオンラインで視聴することが出来、何より全国の皆さんとお顔をみながら参加出来るのが最高ですね！ 4 月の下旬には通信三田会の正会員を対象に、オンライン交流会も開催予定です。パソコンに弱いシニア世代も、スマホとともに、パソコンに強い世代に生まれ変わるチャンス到来です。



長い自粛生活で『フレイル化』が心配されます。『健康・栄養・社会参加』の3要素は、一つでも欠けたら元気な生活が送れません！ マスコミでもフレイル予防の情報は沢山あります。

家庭でも出来る、健康体操からでも始めてください！ 私も、自分の健康と高齢者の健康生活を考えて、『福山市フレイルサポーター』として活動しています。

↑ 広報ふくやま 2021 年 2 月特集「今日からフレイル予防」から抜粋
<https://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/koho-202102/206410.html>

広島通信三田会に寄せて

広島通信三田会 幹事（慶友会担当）

益田 由起子（令和2年法学部卒）

私の卒業が決まった頃からコロナが世界中に猛威を振るうようになりました。そのため私の年度は、まさかの卒業生の出席が見送られる中でのオンライン配信による卒業式となったのです。卒業式という一大イベントを未経験のまま卒業生となったわけです。そんなわけで、仲間とのコミュニケーションがままならないという状況の中であって、慶應組織への帰属意識を十分に持つことができているかと自問してみると、どうも yes とは言い難い感が強いです。しかし、この問題は私個人に限らず、コロナと戦う人々の悲しき現実課題であると思います。

昨今は、どこかしこのコミュニティではオンラインで繋がる方法が採られています。大人数の人間同士が向き合って談笑することが不可能な状況下では、これも致し方のないことだと思います。通信三田会でも取り入れることが可能であるようでしたら、ぜひ参加させていただきたいと思います。しかし、コロナが落ち着いた時期であれば、やはり生身の人間が同じ空間で、相手の表情や反応を感じながら談笑できることが何倍も何十倍も楽しいと思います。

幸せなことに、慶友会で一緒に活動した仲間が、今でも時々連絡をくれます。慶友会ではもっぱらオンラインで定例会を開いているそうです。講師派遣もオンラインで開催されたとのこと。このような話を聞くと、慶應通信の学習のやり方もコロナによってずいぶん変化したものだと驚くと同時に、ネット技術に精通しなければ大学の勉強も受けることができない時代になったのかと正直ショックでもあります。

何はともあれ、来年こそはコロナに惑わされることなく、慶應組織を含めた日本中のコミュニティが元の形状に戻れるよう願っております。そして、まだお目にかかったことのない広島通信三田会の同窓生の皆様にお会いできる日が来ますことを心よりお祈りしております。



昨年の写真ですいません、、、 また皆さんでお会いできますように！（by 小林）

2021年度卒業式(午前の部)レポート

～ とある保護者の目線から ～

広島通信三田会 幹事 (広報担当)

小林 節子 (平成17年経済学部卒)

去る3月23日、日吉記念館で卒業式が行われた。今回は、息子が卒業生となった。2018年4月に彼が入学したときは、記念館は工事中だったため、保護者として参加できる卒業式は、新しい記念館に入れるかなあと、私の密かな楽しみだった。けれども、2020年3月からのコロナ禍、彼の3年生以降は、三田キャンパスで過ごすはずだった日々は、ほとんど無くなった。そして、2022年2月から、自然災害、世界情勢不安。わかってはいたことだったが、私の密かな楽しみも無くなった。

今回、卒業式のレポートを依頼されていたのだが、家庭の事情もあり、上京もできなくなった。そこで、息子に託した。すると、次のとおり時系列に写メを送ってくれた。



日吉駅からキャンパスを臨む



式典(午前の部)開始前の日吉記念館前



式典(午前の部)開始直前の日吉記念館内部の様子

定刻となり、大学のホームページから、YouTube 配信画面に切り替える。



2021年度 慶應義塾大学学部卒業式 午前の部

尚、卒業式の動画配信については、各々 URL で見るができるようになって いる。

ちなみに、卒業式は午前と午後の 2 部制になっていた。

【午前の部】 法学部・商学部・理工学部 ※通信教育課程学生を含む

URL : 【午前の部】 <https://youtu.be/ZdCZf7Qe08c>

【午後の部】 文学部・経済学部・医学部・総合政策学部・環境情報学部・看護医療学部・薬学部 ※通信教育課程学生を含む

URL : 【午後の部】 <https://youtu.be/EmXeoWItZ3Q>

しばらくして、「学位記をもらった」と LINE メッセージ有り。

私の時代は、縦書きだったなあ。この学位記を手にする事は、通信であろうとなかろうと、ある程度の努力は必要だと思う。息子よ、卒業、おめでとう！ これからもファイトだぞ！



[特別寄稿]

第二の故郷、広島を想う(Ⅱ) ～四国松山から広島県北「三次町」へ～

岡山通信三田会 名誉会長

明石 旭弘 (憲彦)

昭和 15 年秋(小 3)、呉二河小より四国松山市の新玉小学校へ転校、教室に入り着席するや、多くの級友が私の許へ殺到、話しかけてきた。しかし呉と違う松山訛りが理解できず困惑した。言葉のやさしさから歓迎されていると知り、忽ち多くの親しい友ができた。なかでも W・T の二君とは、互いの家を訪ねあい、生い立ちや昔話・武将たちの話で盛り上がり、親友となった。小学校 3 年生の 3 学期、級長に選任され、母は喜び、我ら 4 人の子供を写真館に連れて行き、記念写真を撮ってくれた。

担任の先生に愛され、多くの友と仲良しになっていたが、昭和 16 年夏、父の転勤で広島の県北双三郡三次町へ引っ越すことになった。船・汽車の長旅を経て、十日市町の三次駅に到着、バスで三次町巴町へ向かった。呉・松山の時と違って、初めての独立した 2 階建ての一軒家の借家に入った。子供たちは広い部屋を喜び走り回り、子供部屋として 1 部屋が与えられた。これまで郷里の田舎や次男(父の弟)の家で過ごしていた祖母も同行、2 階の 1 部屋を占拠した。家の周囲は板塀で囲われ、小さい庭や内風呂もあった。神経痛などで苦しんでいた祖母の依頼で、両足の裏を踏んであげたり、肩や腕や足を揉んであげたりしていた。



◆ 巴橋 【三次市三次町-十日市町】

江の川と馬洗川の合流地点から上流側 500 メートル地点を走る国道 375 号の道路橋、三次市三次町と同日市町とを結ぶ赤色のアーチ橋は三次市のシンボル。

数日後、巴町少年団(三次中生 1 人、高小生 2 人、6 年生 1 人、5 年生 2 人、4 年生 2 人、3 年生 2 人、2 年生 4 人、1 年生 2 人、計 19 名)に入団、早朝から深い霧を突いての宮参り(必勝祈願)や道掃除等を行っていた。三次は三方を大河(西は江ノ川、南は馬洗川、東は西城川)によって囲まれ、古来より水泳が盛んであった。三次小のほとんど全員が水泳塾に入り、訓練に励み、昇級・昇段を目指して競っていた。私も弟と共に、嫌々ながらも入塾テストに臨んだ。講師の合図で飛び込んだが、直ぐ沈んでしまい、助けられた。恐れを成したのか、弟は逃げてしまった。

運動神経も体力もない私は上達が遅く、横泳ぎと顔を漬けて真っ直ぐ泳ぐことしかできなかった。

三次小は木造の2階建てで、4年生男子組は2階にあり、南側の窓から正校門や街並みを臨むことができた。やがて仲良しの友が十数名でき、なかでも旧官内のU君は「勉強を教えて欲しい」と隣に座ることを望んだ。Uとは互いの家を訪ね合い、親友となって大いに多くを語り合った。私が三次を離れてからも文通を続け、三次の多くの情報を伝えてくれた。Hは三次中高を経て広島大工機械へ、Yは同大経、U a とNは早大商、親友Uは山口大経へ等。文武両道に秀でていたTは広島原爆で死亡、誠に残念無念、冥福を祈る。警察署長の息子Sは健診(身検)の時、パンツまで脱いで真っ裸になり、級全員爆笑、彼も泳げなかった。

ある日、校庭にいた私は、2階の友人Aに私の鞆を投げ落とすよう頼んだ。鞆の中の弁当箱がペチャンコになっているのを見たAは、知り合いの鉄工所へ私を連れて行き、弁当箱を直してくれた。Aと鉄工所には深謝したが、母からは叱られた。校庭拡張工事(?)の為か、全校生徒で河原(江ノ川)から砂利や小石を運ぶことになった。笹藪や牛血の流れる砂川を越えての長距離の運搬は、弱小の私にとっては重労働であった。呉以来、主か副役であった学芸会や遠足は楽しかったが、運動会は憂鬱であった。昭和17年(小5)秋、級全員で十日市町の三次中(現：三次高)へ運動会見学に行った。勇壮な騎馬戦・鉄棒や体育各種の美技に感じ入りながら、2年後には私自身もこの場所にあるかもしれないと思った。

日中戦が激化する中の昭和16年12月8日、日本は米英に宣戦布告「太平洋戦(大東亜戦)」に突入、連戦連勝を喜び、弟妹たちに『家族新聞』で伝えた。種を蒔いて朝顔などを育て、その生育・開花状況なども伝えた。呉以来、小学館の『一～六年生』は毎月購読していたが、三次では『小学生毎日新聞』も購読、社会の動きや東南アジア諸国の状況など興味を持って調べるようになった。かねてより期待していた新聞の付録が配達されず、口惜しくて激しく泣き、母を困らせた。松山の臭くて不味い南京米から解放されたものの、食糧事情はさらに悪化、卵一つ果物一つ買うにも長い行列が必要であった。家族七人の食事を賄うため、母は大変苦勞、双子出産前日まで配給米を取りに行く等、働き続けていた。子供たちで掃除等手伝っていたが、潔癖感の強い母は再修正する等作業を重ねていた。

昭和17年春、父の岡山県高梁への転勤が決まったが、単身赴任することになった。前任者の後へ転居するのが通例であったが、家主が子供が多いことを理由に入居を拒否、入居先が見付からなかった為だ。下宿先から久しぶりに帰省した父が、私に同行を誘った。私は大いに喜び、初めての父との旅行に興奮、芸備線・伯備線の旅を楽しんだ。夜遅く高梁着、父の下宿先で一泊、翌朝母の従妹Hと岡山市へ旅立った。Hは勤務先を遅刻して、親戚杉原家(母の叔父)まで送ってくれた。年頃の2人(母の従弟：MとT)は美人のHを見て、興味深く噂話をしていた。Tは医学生、Mは医師だったが結核療養中で私の遊び相手になってくれた。旭川や社寺に行き、昔話・謎々・世界諸国の歴史の話などで親しくなり、兄のように思えた。友の医師を訪ねた時、出された「カルピス」の美味に驚き、再飲をお願いした。Tの兄Sは開業医(後に軍医として出征)、姉はクリスチャンで聖書物語り等の本があり、キリスト教について初めて知った。ある日、玉島のN(母の三兄)が来訪、Nの家に三泊、Nの娘三姉妹と家の中を暴れ回って遊んだ。さらに玉島心地町のTy(母

の次兄)を訪ね、養子の T y が掃除しているのを見て、我が家との違いに驚いた。再び番町の杉原家に帰って数日後、母から、四男と次女の双子が生まれたことを伝えられると、直ちに帰宅を決意した。T に福山まで送ってもらい、福塩線の長旅を経て帰宅、母と二人の赤ん坊を見て安堵し、幸せを噛みしめた。

5 年生の 1 学期、男子組の副級長に選任され、男女組の副級長 T s 子の隣に並んだ。常に成績上位の T s は運動会でも常にトップを走り続けていた。早くから美しい彼女を想い続けていたが、呉・松山と違う風習(男女の仲を中傷非難する)で話しかけることができなかった。母や妹とも離れて歩き、母から詰問された。私の思いを知ってか知らずか、数名の級友から、T s との仲を面白可笑しく冷やかされた。ただ遠くから眺め思い続ける、実らない淡い私の初恋だった。この時の男女組の級長 Y g (父は営林署勤務)とは、昭和 19 年、県工で再会し親友となる(私が班長、Y g が副班長)。

家の西側に三江線(未開通)の高架橋が南から北北西に走っており、家の南側と高架橋の間に 300 坪程の空き地(雑草)があり、子供たちの遊び場になっていた。相撲・キャッチボール・鬼ごっこ・竹馬・縄跳び・戦争ごっこ等で遊んでいた。負けてばかりの相撲であったが、呉の頃から雑誌や新聞で、相撲の写真や記事を興味深く楽しんでいて、三次では神相撲に熱中、星取表を作る等弟妹と遊んでいた(双葉山・男女川・名寄岩・笠置山・鏡山等の力士を思い出す)。連戦先勝の双葉山を破った安芸海が郷里広島へ凱旋、十日市町で記念大相撲が興行され、多勢の観客で大盛況、級友と共に見物した。陸軍の軍事演習が江ノ川周辺で展開され、級友全員と見学したことがあった。水泳の神技等が披露された後、水中爆発(?)があり、多くの小魚が浮くや多くの町民が競うように捕っていた。

三次には図書館も小学校図書部もなかったようで、友達間の本の貸借が盛んに行われていた。『見えない飛行機』『火星兵団』等探偵小説を多く読んでいたようだ。冬になると教室の机群の背後に長火鉢が設置され、休み時間皆で温もりながら談笑していた。校庭に雪が積もると雪合戦等で遊んでいた。女先生を「パーマしている」と非難、担任の若い長身の男先生を「絶壁」と渾名した級友たちが、「明石も絶壁だ」と渾名しないかと冷々した。

ある日、東京から従兄(母の長兄の長男)が来訪し、母に「最後になるかも…」と別れを告げた。陸軍少尉として出征する従兄や弟妹と共に、模型飛行機を組み立てるなど一時を過ごした。彼は無事に復員、戦災で郷里足守に疎開していた家族の許へ帰り、我々とも再会できた。昭和 17 年 12 月、やっと入居先が見つかり級友たちに別れを告げた私は、家族 9 人と共に芸備線に乗車、高梁へ向かった。その日は大詔奉戴日、父の号令でその客車の乗客全員、東の宮城に向かって遙拝した。多くの乗客環視の中、母は臆することなく 2 人の乳児に哺乳していた。何時の頃か、私と次弟の両足に「出来物」が発生、「雪の下」等の野草で治療を続けていたが、高梁でさらに悪化、西大寺で頭へ転移する等最悪となった。

塾 情 報

「卒業生16000人達成記念式典」のご案内

— 10月15日(土)午後 三田キャンパスで実施 —

企画部長(実行委員会事務局長) 出口 常雄

「通教課程卒業生16000人達成記念式典」は、昨年10月以降、幹事会のご指示に沿い、連合三田会ならびに塾員センターなど、広くご支援をいただきながら下記のような緊密な情報交換を行って参りました。

1. 開催日時 2022年10月15日(土)

13:00~14:30頃 全国秋期幹事会

15:00~16:30頃 記念式典(「ご来賓祝辞」ほか)(記念講演会 含む)

17:00~19:00 記念祝賀会

2. 会場 「三田キャンパス内 施設」(予定)

3. 推進体制の設置

(1) 「準備委員会(委員長:山岡恒夫会長)」の設置。

全国各地域会長との連絡体制の円滑化を図る。

(2) 準備委員会のもとに「実行委員会(委員長:山岡恒夫会長)」と

「事務局(事務局長:出口常雄企画部長)」を設置。

(3) 「事務局」のもとに「部会」を設置。



全国通信三田会卒業15000人達成記念式典

4. 今後の予定

(1) 2022年5月28日(土)全国春期幹事会において、決定内容を説明し、「会報」夏号による周知を図る。

<留意点>

- 事務局は「ZOOM方式併用」など全ての参加者が参加しやすい企画案検討に努めること。
- コロナ禍の現況を随時踏まえ事務局会議等にて、粛々と準備作業を進めること。

通信教育課程 2021年9月卒業生数 と 2021年10月の入学者数 (単位 名)

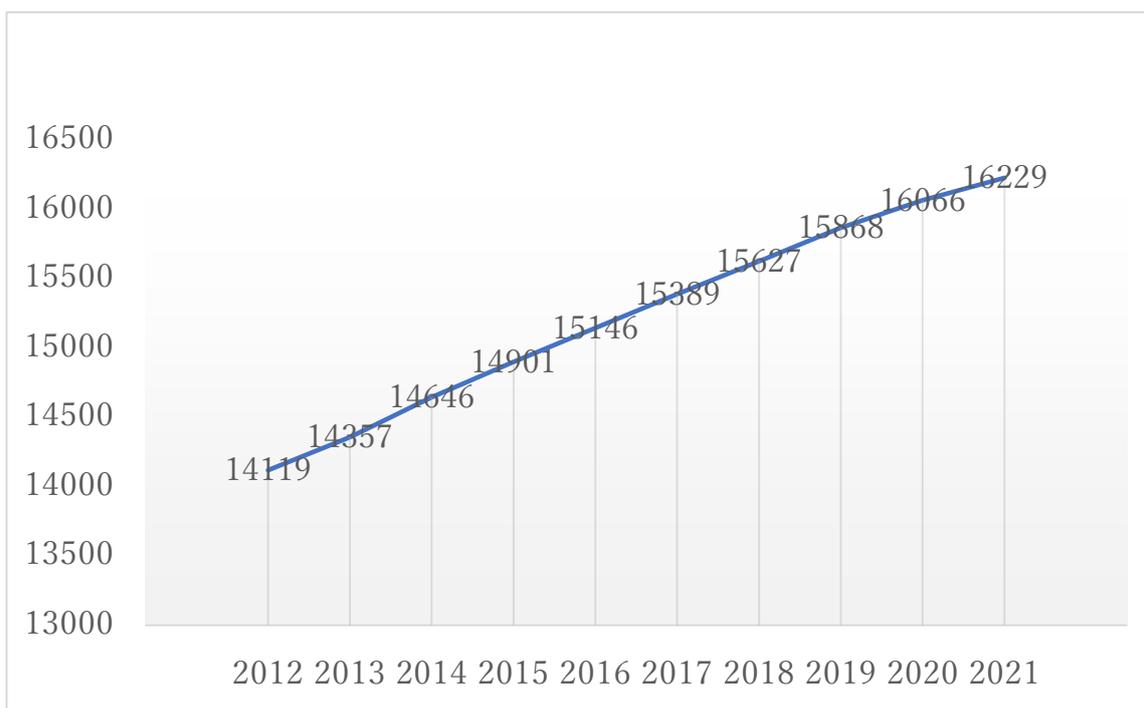
	2021年9月卒業生数			2021年10月入学者数		
	男	女	計	男	女	計
文学部 第1類	55	75	130	8	17	25
第2類	14	10	24	7	5	12
第3類	11	25	36	4	12	16
小計	80	110	190	19	34	53
経済学部	117	76	193	16	19	35
法学部 甲類	52	50	102	2	4	6
乙類	19	6	25	6	1	7
小計	71	56	127	8	5	13
合計	268	242	510	43	58	101

(全国通信三田会報第114号より引用作成)

◆ コメント

通信教育の性格から1時点の数で比較できないが、大雑把にみて入学生5人に1人(20%)が卒業。以前、塾の卒業割合は5%位(100人に5人程度)と言われていた。最近では学士入学者が多いようで卒業割合は向上しているかも知れない。学部別の卒業割合は文学部(約28%)、経済学部(約18%)、法学部(約10%)文学部が多いのは女性の卒業割合が多いと思われる。

通信教育課程卒業生数の推移



通信課程年度別累計卒業生数の推移グラフ（2012年9月～2021年9月）

編集後記

今年も冬から春へ、季節が変わってきました。野山の樹々も冬眠から覚め、芽を出し、花を咲かせ、律義ですが、人間は時を経て身も心も変わります。

年年歳歳花相似 歳歳年年人不同 （唐詩選）

日本は 70 余年、日本国憲法を守り、平和が続いていますが、世界は大国アメリカと、覇権を目指す中国との対立、ロシアのウクライナへの侵攻、北朝鮮の相次ぐ核実験やミサイル発射など、平和を脅かす事件や空気が漂っています。我が国も、これらは決して対岸の火事ではないことを肝に銘じなければなりません。コロナも依然として居座り、経済や人の活動、生活様式、価値観、生き方を変えてきました。こうした情勢で、伝統ある連合三田会も、昨年はオンラインに変わりました。内外とも激動の時代です。世界情勢を見ながら同時に足元も良くみて冷静に考え、行動することが大切でしょう。

（迫田）

慶應義塾大学 広島通信三田会報 みやじま 第62号

発行 広島通信三田会 会長 迫田 勲

編集 広島通信三田会 幹事（広報担当） 小林 節子

〒731-1171 広島市安佐北区安佐町小河内1448番地

E-mail i-sakoda@h9.dion.ne.jp

発行 2022年 3月31日

会のHP <https://hiro-tu-mitakai.net>

